

総務市民分科会 会議録

=====
日 時 令和5年6月16日（金曜日）
午前10時47分開会 午前11時15分閉会
場 所 第1委員会室

日 程

- 1 開 会
 - 2 委員長挨拶
 - 3 協議事項
 - (1) 議案の審査
 - 議案第48号 令和5年度土浦市一般会計補正予算（第4回）
第1表歳入歳出予算補正中歳出第2款（総務費）、第8款（消防費）
 - 議案第54号 令和5年度土浦市一般会計補正予算（第5回）
第1表歳入歳出予算補正中歳出第1款（議会費）、第2款（総務費）
 - 4 閉 会
-

出席委員（8名）

委員長	奥谷	崇
副委員長	目黒	英一
委 員	古沢	喜幸
委 員	篠塚	昌毅
委 員	小坂	博
委 員	滝田	賢治
委 員	菅井	歩美
委 員	柳澤	健二

説明のため出席した者（11名）

市長公室長	船沢	一郎
市民生活部長	真家	達成
消防長	檜山	保明
議会事務局長	櫻井	良哉
消防次長	本橋	一夫
政策企画課長	佐々木	啓
市民活動課長	佐野	善則
人権推進課長	福原	守
市民課長	羽成	信明

警防救急課
議会議務局次長

堀本 良博
天貝 健一

事務局職員出席者

主 査 津久井 麻美子

傍聴者（0名）

○**奥谷委員長** ただ今から、予算決算委員会総務市民分科会を開催いたします。それでは、付託された議案の審査に入ります。まず、議案第48号、令和5年度土浦市一般会計補正予算第4回、第1表歳入歳出予算補正中歳出第2款(総務費)、第8款(消防費)を議題といたします。資料につきましては、議案書での説明になりますので、サイドブックの本会議フォルダ、令和5年第2回定例会、事前配付資料の中の議案第41号から53号を御準備ください。それでは、執行部より説明を願います。

○**佐々木政策企画課長** 私からは、水郷筑波サイクリング環境整備事業の補正予算案につきまして、御説明をさせていただきます。資料につきましては、29ページをお開き願います。こちらのページの一番左上を御覧いただきまして、2款総務費、1項総務管理費、9目企画費の補正でございます。右側の説明欄を御覧いただきまして、国のインバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業の補助金を有効に活用いたしまして、今回は特に台湾からのインバウンドの誘致を図ることを目的といたしまして、サイクリングを軸に本市の地域特性を組み合わせた体験型観光事業を構築いたしたいというものでございます。補正予算でございますが、12節委託料として、国費670万3,000円を充てつつ、940万6,000円の増額補正をいたしたいというものでございます。お配りした資料は、前回の事前委員会で篠塚委員からスケジュールという話がありました。そちらを御覧いただきまして、今後のスケジュールでございますが、この補正予算について、議決をいただきましたら、7月には公募により、観光事業者を決定することになっております。上から三つ目の箱を御覧いただきまして、9月から10月にかけて、台湾において、発信力のあるメディアやインフルエンサーなどを、2泊3日の体験ツアー、ファムトリップに御招待いたしたいと考えてございます。また、このファムトリップの参加者から御意見等を伺った後、それを受けて、ツアー内容に修正を加えた上で、11月から12月にかけて、モニターツアーを開催いたしまして、効果などを検証いたしたいと考えてございます。この事業を進めることで、今後各旅行会社においては、これまでと違った視点から新たなツアーを構築する際のモデル事業になると、本市にとっても新たにインバウンド層の誘致に結びつく事業になるものと考えてございます。説明につきましては以上となります。

○**福原人権推進課長** 14目男女共同参画推進費、男女共同参画センター事業について御説明申し上げます。性別や年齢、障害の有無、国籍など、多様性を受け入れるダイバーシティの考え方を理解するため、職員を対象といたしました理解向上研修実施に伴う報償費の9万円の増、いばらきダイバーシティ宣言への登録に伴うセレモニー開催に係る消耗品費20万8,000円の増でございます。説明は以上でございます。

○**羽成市民課長** 18目支所及び出張所費の補正予算について御説明いたします。補正の理由は、都和支所の駐車場が狭隘のため、市民の方が支所を利用する際、御不便をおかけしている状況でございます。昨年秋以降、特にマイナンバーカードの申請交付や、各種証明書で来庁する市民の方が多くなっております。現在、都和支所の駐車場スペースは約2台ほどでございます。都和支所から近接する民地で、ちょうど道を挟んだ東側に、JA水郷つくばセレモニーセンターがあり、大きな駐車場を有しております。

都和支所との間に横断歩道もあることから、J Aつくばセレモニーセンターに駐車場を賃借できないか打診したところ、了解を得ることができましたので、今回駐車場の賃借料の補正をお願いするものでございます。補正予算額は、4台の駐車スペースで9か月ということで、11万9,000円をお願いするものでございます。以上でございます。

○堀本警防救急課長 警防救急課でございます。31ページ、一番下の箱をお願いいたします。8款消防費、1項消防費、1目非常備消防費、消防団管理事業、消防団員の退職報償金の補正でございます。新たに4名の方から退職の申し出がございましたので、補正をお願いするものでございます。補正額につきましては、111万6,000円となり、補正後の額は6,776万8,000円でございます。説明は以上でございます。

○奥谷委員長 ただ今の説明について何か御質問はございますか。

○篠塚委員 水郷筑波サイクリング環境整備事業の中のファムトリップとモニターツアーについて、大体どのぐらいの人数を想定されていますか。

○佐々木政策企画課長 ファムトリップにつきましては15名を、モニターツアーにつきましては20名を予定してございます。以上です。

○篠塚委員 インフルエンサーとか招待するその方たちがすぐに情報発信していくと思うんですが、その辺のところの情報発信した場合の土浦市のほうは、どういうふうにモニタリングするとか、なんかそういうことは考えていますか。

○佐々木政策企画課長 今回、この事業の一番目玉の部分でございます。台湾は日本と違っていて、日本であればロコミなどを見て、店を選ぶと思うんですけども、台湾というのは、ロコミはほとんど見ないんですね。ブロガーといいますか、そういった方の記事を見て、行動するというのが分かってございます。そのような中で、今回の公募で事業者を決めますけれども、その公募の中で、いかに発信力があるかといった部分も公募の事業者を決める際に、点数を高く取ると思ってございます。基本的に台湾はFacebookの主流の国でございますので、我々のほうも、Facebookの発信状況ですから、そういったものを確認しながら進めていければと考えてございます。以上でございます。

○篠塚委員 委託業者なんですけど、大体何社ぐらいいらっしゃいますか。

○佐々木政策企画課長 委託事業者につきましては、市の契約の登録事業者ということでございまして、役務の提供で、今観光事業者10社ございます。その中から決めるような形になるかと思えます。以上です。

○篠塚委員 登録業者10社ですけども、やはりこういうのに強い業者さんがいると思うんですが、台湾のインフルエンサーの方たちとつながりを持っていたりとか。そういうのも、別に心配ないですか。

○佐々木政策企画課長 我々のほうも今話した中で、登録事業者10社、一応この10社はおそらく手を挙げる資格があると。そのような中で、当然公募で事業者を決めますので、先ほどお話したとおり、一番重視したいのはその発信力ですね。どれだけ強いブロガーとつながっているかという点が、この業者選定の一番重要な所かと、そのように思っております。以上でございます。

○柳澤委員 インフルエンサーの方々も、今おっしゃられたその事業者と直接契約を結んでいるわけではとりあえずないと思います。また、インフルエンサーの中には、発信力の強い人なんていうのは、それぞれスポンサーがついていたりとか、そういったこともあると思いますが、そのスポンサーとの絡みでこの土浦市の情報が発信できないとかそういったことはないのが前提でという認識でよろしいでしょうか。

○佐々木政策企画課長 柳澤委員のおっしゃるとおりでございます。ある程度、50万人ぐらいのフォロワーがいる方は、1回の発信で数十万というような金額がかかるということも我々のほうで把握してございます。そのような中で、いかに発信力がある方を、このファムトリップに連れてこられるのかと、そういった所が事業者の一番の強みであるかと思っています。その辺を我々の審査の中でしっかり見極めていきたいと考えてございます。以上でございます。

○小坂委員 すいません。ネットを駆使して非常にいいななんて思いながら聞きながらいたんですけど、ちょっと言葉がね、いろいろ出てくるんですけど、多分何となく分かっているんですけど、ファムトリップは下に書いてありますけど、インフルエンサーとか、何だろうかと、インバウンドとかね、ダイバーシティとかで、多分いろいろそういう言葉を使うし、ブログとかで、そういうことは何となく分かっているんですけど、ちょっとその辺を少し分かりやすくというか、日本語にさせていただいて。そうでないと、理解がみんな同じように進みたいものですから。すいません。よろしく願いいたします。

○佐々木政策企画課長 失礼いたしました。まず、ファムトリップという言葉でございますが、ファミリアライゼーションという言葉がございます。様々な意味がありますが、その中でも世間に広めるという意味でございます。それに、プラストリップ、旅行ですね。それを組み合わせた造語で、ファムトリップという言葉になっていると。あと、インフルエンサーにつきましては、世間に対して大きな影響力を持つ方という、そんなひとくくりになっているところでございます。あと、ブロガーというのが、色々な所に書き込みするとか、発信する方といった意味でございます。以上でございます。

○目黒副委員長 引き続き、関連してなんですけども、トリップ、モニターツアーと実際に実施されて、多分年末ぐらいに観光客が来られる可能性もあったりするんじゃないかと思うんですけども。委託してからになると思いますけども、今の時点で、例えば、経済効果であったりとか、観光客数、このぐらい来るんじゃないかなという見込みがあれば、教えていただきたいことと、あと体験ツアーで観光遊覧船やそば打ち、レンコン掘り、例えばそういった台湾からの観光客がそういった施設に来た場合、こういうふうに対応してくださいというようなマニュアルや、そういう通知などは、今のところ計画とか、実際にもうされているのであれば、教えていただけたらと思います。

○佐々木政策企画課長 経済効果の部分の質問と、あともう一つ、対応についての二つの質問かと思えます。経済効果のほうについては、今回の事業というのは、官公庁でも新たな事業というのが条件になってございます。我々のほうもサイクリングに、こういった本市の宝、例えば、花火の部分、プライベート花火や、霞ヶ浦の遊覧、そば打ち、レンコン掘りなどを組み合わせたツアーは今までやったことがないということで、敢えて、

国費を入れて市でやってみて、それを他の観光事業者さんにもしていただいて、こういった事業を構築していただきたいと、そういう思いでございます。ファミトリップを最初に実施するというのは、実際感触はどうなんだと。ですから、その意見を聞いた上で、見直して、モニターツアーを実施したいということでございまして。まだまだその効果といった部分までは考えていないといえますか、ある程度形が固まって、それで初めてその効果というのを試算できるのかなというふうに思っているところでございます。もう一つ、各施設の対応でございますけれども、今回、各施設にポケトークのようなものは配備しようと思っております。もう一つ、通訳さんも国費当てつけると。今回、観光事業者さんで初めての取組でございますので、例えば、こういったツアーをやる場合に、ガイドさんを当然つけなくてはならないと。ですから、今回のこの委託の中には、そのガイドの育成というの盛り込んであるところでございます。以上でございます。

○目黒副委員長 委託業者さんに、そういったことも多分レクチャーしていただけるかと思うんですけども、おもてなしの体制をしっかりと整えていただけたらと思います。以上です。

○佐々木政策企画課長 おっしゃる通りだと思います。ファミトリップということで、かなり発信力ある方に、まず来てもらいますので、そのおもてなしの部分。それで最初もし駄目なようなことがあった時に、そのまま発信されるということもございまして、その辺をしっかりと事業者と連携しながらやっていきたいと考えてございます。御意見ありがとうございました。

○滝田委員 サイクリング環境整備事業についてですが、2泊3日の体験ツアーの実施となっているんですけども、下にオプションについても書かれているんですけど、この2泊3日というのは、どういうふうに過ごすイメージなのか、教えてください。

○佐々木政策企画課長 本日お渡しましたこのスケジュールですが、その下に、体験ツアーオプションと書かせていただきました。説明でもお話ししましたが、サイクリングを軸に、昼間はサイクルーズを体験してみたり、もしくは、小町に行ってそば打ちを体験したり、レンコン掘りを体験してみたりなど、そういった形で、本市にはBEB5がございまして、BEB5に泊まりながら、その2泊3日で、日中はそういったことをやりながら、夜にはプライベート花火を体感していただいたり、そういった形でツアーを構築したいと考えているところでございます。以上でございます。

○奥谷委員長 ファミトリップを実施して、モニターツアーを行うということで、いずれにしても台湾から多くの方がいらっしゃるというふうに思うんですが、台湾も中国の旧暦の春節がおそらくあると思うんですね。大体、毎年1月の下旬から2月の頭ぐらいにかけてが春節の時期で、大型の連休になるというふうに思うんですが、ネットで発信となると、即効性があるって、おそらく台湾の方、じゃあすぐ行ってみようという形で、その春節、来年のもう1月下旬から2月には、早い方が動き始めるんじゃないかなってのちょっと今このスケジュールを見ていて、懸念をしました。ちょうどアンケート実施と検証効果が、11月から2月の頭ということなんですけれども、なるべくこれをちょっと早く前倒しをしていただくことができるのかどうか。もし可能であれば、その1月

の下旬から2月に関してはもうある程度の受け入れ体制、市の観光案内の表示だとかです。ね、通訳が間に合うかどうか分かりませんが、そういったことを少し頭に入れていただいて、準備なりを少しは前倒ししていただくことは可能でしょうか。

○佐々木政策企画課長 今回初めての取組ですので、前倒しにできるかどうかというのは事業者が決まってから、調整をしなければならないかなというふうに思っております。1月、2月に来る可能性もございますので、その辺は事業者が決まってから、打ち合わせをさせていただければと思っております。以上でございます。

○奥谷委員長 そのほか、ございますか。

(「なし」という声あり)

○奥谷委員長 それでは、総務市民分科会としての賛否を確認いたします。議案第48号、令和5年度土浦市一般会計補正予算第4回の第1表歳入歳出予算補正中歳出第2款(総務費)、第8款(消防費)について、原案どおり賛成とする方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

○奥谷委員長 ありがとうございます。反対する委員はおりませんでした。全員賛成です。つぎに、議案第54号、令和5年度土浦市一般会計補正予算第5回第1表歳入歳出予算補正中歳出第1款(議会費)、第2款(総務費)を議題といたします。資料につきましては、委員会資料と議案書での説明になりますので、まず、総務市民委員会フォルダにお戻りいただき、資料7を御準備ください。それでは、執行部より説明願います。

○佐野市民活動課長 市民活動課でございます。どうぞよろしくお願いたします。それでは資料の7、議案第54号、令和5年度土浦市一般会計補正予算の第5回について御説明をさせていただきます。この議案第54号につきましては、今回追加の議案として提出させていただいた案件となります。それでは、資料に基づきまして、御説明をさせていただきます。事業名は、国際交流推進事業でございます。はじめに、今回の補正の理由ですが、令和5年4月7日にオンラインにより友好交流協定を締結いたしました台湾の台南市への訪問に伴う経費の増額補正となります。3の補正予算の内容に記載がございますとおり、台南市への訪問につきましては、7月20日木曜日から、7月23日日曜日、3泊4日の行程で、市長、市特別職1名、市議会議員4名、随行職員2名の合計8名により表敬訪問の実施を予定しております。なお、市議会関係者にかかる経費につきましては、別途要求させていただいておりますことから、市民活動課からは、市役所側の3名分の経費を計上させていただいております。戻りまして、2の補正予算額につきましては、旅費や保険料等の役務費、現地移動用の専用車のチャーター代、通訳及び現地ガイドに係る経費等、合計で121万1,000円を要求させていただいております。なお、議案書につきましては、サイドブックスの本会議、令和5年、第2回定例会、事前配布資料の議案第54号の8ページの下段、2款総務費、1項総務管理費、13目国際交流費に記載のとおりとなっております。市民活動課からの説明につきましては以上でございます。よろしくお願いたします。

○天貝議会事務局次長 議案書を御覧いただきまして、8ページになります。上段の表でございます。議会側の台南表敬訪問に係る経費でございます。3費目ございまして、

まず旅費につきましては、先ほど御説明ありましたけれども、議員4名、それから随員1名の旅費88万1,000円です。10節の需用費、こちら消耗品費でございますが、本市のPR用物品の購入代金1万円でございます。11節役務費につきましては、5名分の傷害保険料4万2,000円、合計しまして93万3,000円の増額補正となるものでございます。説明は以上です。

○奥谷委員長 ただ今の説明について、何か御質問はございますか。

○古沢委員 飛行機はビジネスクラスなんですか。

○佐野市民活動課長 全てエコノミークラスで計算をしております。

○古沢委員 市長も同じなんですか。

○佐野市民活動課長 市長も一緒でございます。

○古沢委員 これ、例えば、台湾往復エコノミークラスで1人当たり15万とか20万とかかかるんですか。

○佐野市民活動課長 飛行機の料金なんですが、時期によっても、やはり変わってまいります。7月の時期ですと、往復で8万2,220円という料金で、今回は計上させていただいております。

○篠塚委員 台湾との国際交流なんですが、まず1点目は先ほど説明ありました水郷筑波サイクリング環境整備事業を推進して、台湾と交流を図るので、是非国際交流の中で、こういう事業をやっているの、是非来てくださいというのも、宣伝も兼ねてやってきていただきたいのが一つと、これは要望です。この後に、市民との交流も図るような話もちよっと聞いたんですけれども、それは、時期的にいつ頃やるのを予定しているのか、その場合の費用は、また補正予算で組んでいくのか、その辺はお伺いできますか。

○佐野市民活動課長 篠塚委員からいただきました要望につきましては、十分考慮した上で実施をしていきたいと考えております。また、市民との交流という点について、御質問いただきました。なかなか今年度は難しいかと思っておりますので、来年度、どのような形でできるかを研究した上で、予算のほうを要求できればと考えております。以上です。

○奥谷委員長 そのほか、ございますか。

(「なし」という声あり)

○奥谷委員長 それでは、総務市民分科会としての賛否を確認いたします。議案第54号令和5年度土浦市一般会計補正予算第5回、第1表歳入歳出予算補正中歳出第1款(議会費)、第2款(総務費)について、原案どおり賛成とする方は挙手を願います。

(全員挙手)

○奥谷委員長 ありがとうございます。全員賛成です。予算決算委員会総務市民分科会の審査は以上でございます。